



薫 風 の 丘

文責 校長

令和 7 年度 由利本荘市総合防災訓練

8月30日(土)に由利本荘市総合防災訓練が行われました。8時に大地震が発生し、まずは身の安全を守り、放送の指示により体育館へ安全に避難することから始まりました。雨天のため屋外への避難はできませんでしたが、安全にそして整然と避難することができました。災害は、慣れた建物や場所だけでなくいつ、どこで発生するか分からないことから、放送の指示に従うと共に、考え、判断して行動する大切さを改めて考える機会となりました。その後、学年毎に避難所開設訓練、給水訓練、119番通報体験を行いました。次に、自衛隊による防災講話が行われました。災害時の活動の実際、避難時の留意点、簡易担架の作り方などお話ししていただきました。その後、その後救援物資の受け渡し体験、自衛隊車両見学を行いました。

避難所に入るときは、住所・氏名等を用紙に記入します。その後、担当の人と心身の状況等を確認します。

段ボールベッドを組み立てました。100kg弱まで耐えることができ、中学生が2人寝転んでも大丈夫でした。

簡易テントを組み立てました。基本的に長い棒2本で、テントを支えるものでした。段ボールベッド2つ入れるそうです。



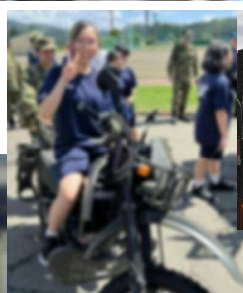
119番通報体験。消防車を呼ぶのか、救急車を呼ぶのか、場所(意外と困る)はどこなのか、落ちて伝えることが大切です。

給水訓練です。水を入れてから、お家まで運ばなければいけません。今回は10kg。台車などあれば少し楽そうです。

自衛隊講話。簡易担架の作り方です。幅広く使えそうです。避難所と避難場所の違いは？お子様に聞いてみてください。



救援物資引き渡し体験。非常時はとてもうれしく、助かることだと思います。もらったら、ありがとうございます。



実際に利用されている自衛隊車両です。乗ったり触ったりと、貴重な体験ができました。

